3rd WMC Seminar

知床の森にベホマを唱える
～生態学・経済学的に最適な森林回復手法のずれ～

日時：2024年4月24日（水）　16:30～18:00
場所：農学部　2号館11講義室
氏名：小林 勇太（FSセンター 助教）

■ハイブリッド同時開催：Zoom　下記よりご参加ください
https://tuat-jp.zoom.us/j/83864115060?pwd=OVl0NnVQUkdNUDVnWkF0V1h6bE9HQT09
ミーティング ID: 838 6411 5060
パスコード: 437976

要旨：北海道の北東部に位置する知床半島では、全国からの寄付金を財源とした森林再生運動（100平方メートル運動の森・トラスト）が行われています。本研究では、効果的な森林再生手法の特定を目標に、周囲を天然林に囲まれた耕作放棄地をコンピュータ上に再現し、植栽密度と植栽種数を変化させた様々な植林シナリオ毎の森林回復過程を森林景観モデル（iLand）によって計算しました。その結果、炭素吸収量の回復は植栽密度の増加と共に早まり、生物多様性の回復は植栽密度の減少・植栽種数の増加と共に早まることがわかりました。これらは森林の回復速度と施業費用にトレードオフの関係が存在することを示唆しており、合理的な植栽方法の特定には寄付者の意向を反映した便益と施業費用の比較が望まれます。発表では、この課題の解決にむけた経済分析の結果をあわせて紹介し、保全・修復生態学分野における学際研究の重要性について議論します。

主催：野生動物管理教育研究センター
Wildlife Management Center

世話人・問い合わせ先：
諸澤崇裕（魚類・野生動物生態学研究室）tmorosawa@go.tuat.ac.jp
髙田隼人（野生動物行動生態学研究室）takadah@go.tuat.ac.jp
小林勇太（森林資源管理学研究室）kobayashiyuta@go.tuat.ac.jp
渡辺将央（生産環境システム学研究室）masahisa-watanabe@go.tuat.ac.jp
平原　俊（森林経営学研究室）hirahara@go.tuat.ac.jp

Wildlife Management Center
Tokyo University of Agriculture and Technology